

1st FILLTURE 保育所等訪問支援 自己評価表

(別紙4)

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	1st FILLTURE			
○保護者評価実施期間	R7 年 5月 20日		～ R7 年 5月 25日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	R7 年 5月 23日		～ R7 年 5月 26日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R7年 1月 31日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 5月 27日			

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
R6年度の10月から運用されている訪問支援の適正化に準じ、訪問先の施設と事前の打ち合わせを丁寧に行い、相互理解に努めています。	訪問支援事業所が関与する影響を考慮し、子どもの学びを阻害しないよう十分に留意しています。また、先生方に対しても、実践しやすいアドバイスとなるよう努めています。	アドバイスに対してのモニタリングや所属先での課題を都度確認しながら、適切な支援になるように努めます。
事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
訪問支援のニーズが増えているため、訪問支援員としてスキルのある人員を確保していきたい。	保護者研修などの機会について、平日は児童発達支援を行っているため、研修を開催するための勤務調整や人員の確保に困難さがあり開催までに至りませんでした。	事業所外にある研修会場を活用するなど、開催に向けて保護者アンケートを行いニーズを研修内容を精査します。子育てや学びに繋がる情報はInstagramなどSNSで発信していきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 1st FILLTURE

公表日 R 7 年 5 月 28 日

利用児童数 14

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	1		5		教具や教材を使用した支援を行った場合はご報告いたします。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4			4		事業所内に個別の相談室をご用意しております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6			2		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	7			1		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			2		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1				
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	3		2		ご家族向けの研修会なども検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7			1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			4		開設の自己評価は今回が初めてになります。年に1回はアンケートも実施します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	1		1		訪問支援では基本的に所属先の指示に応じるようになっておりますが、共有できていない部分は確認いたします。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			2		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8					
	28	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
1st FILLTURE		R7年 5 月 28 日				
		訪問先施設数 7 回収数 6				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			○具体的な方法の例を挙げてくださり分かりやすい。 ○言葉が出なくても肩を叩いて合図するなど、子ども側からアクションを出すことで少しずつ、自分の気持ちが表れている事等、教えて頂いたので様々な場面で取り入れたいと思いました。 ○発表会で行う曲を練習していた時、初めころは不安そうな表情をしていましたが、事業所の方でもピアノに触れたり曲を聴いたりして少しでも慣れるようにと配慮して頂いたこともあり、日に日に自信をもって練習できるようになりました。	所属先で取り入れられることを検討していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			○個々に合わせた知識を持っていらっしゃると感じます。 ○室内遊び時に一つの遊びだけでなく、子ども達と色々な遊びをしてくださり、対象児も支援員さんとの関わりを通じて他児と一緒に遊ぶ楽しさを知ることができているように感じました。	知識・技術が向上していけるように、研修を行っています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6			○丁寧に、回答して下さっています。	その場でお伝えきれないことがあった場合は、お電話やメールでも回答いたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	1		○教えてくださったことを実践してみた結果、少しずつでずが出来るようになってきたように思います。 ○どのように関われば良いか、難しいと感じていましたが、支援員さんの関わり方や、話を聞いて参考にすることができました。 ○活動や行事などで、より適切な支援を行うことが出来るようになった。	モニタリングを行い、改善されていない様子があれば違うアプローチをご提案します。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1			
その他のご意見						ご意見を踏まえた対応
○幼稚園の活動や生活において、様々なアドバイスや説明をしてくださっていつもありがとうございます。今後も、どうぞよろしくお願い致します。 ○園で行っている活動内容(ピアノ类等)を事業所でも取り入れて、それを提示してくださったり、支援方法に對し的確なアドバイスをしてくださり、対象児への理解がより深まると共に支援の幅が広がりました。 ○保育所等訪問支援について依頼があった際、ご来援頂き説明を聞く事ができ大変良かったです。触れることのない言葉でごく浅い理解しかありませんでした。 又、保護者側の意向を受け入れつつも、訪問支援事業所(1st FILLTURE)が本園の考えも尊重し、無理のない日程で計画して頂き好感が持てました。 ここのところ他施設からも保育所等訪問支援依頼のお話が多くなりました。中にはこちらにとって無理な日程の申し出であったり等、本来の意図からずれているように感じることも多く、この保育所等訪問支援の本来の目的は何なのだろうと感じる時もあります。 幼稚園としては該当のお子さんだけでなく幼稚園に所属している子ども達は皆一緒です。療育を必要とするお子さんの為とも思いますが意向に添えないこともあります。 該当する子だけを考え他に影響が出る状態になる事は好ましくありません。療育を必要とする子と関わる事で他児が成長することもありますし、療育を必要としているお子さんの成長になるならばという思いはありますので、こちらができる範囲での協力は惜しみません。関わりを持つそれぞれがお互いが携わる中で協力することに快く、不快な気持ちにならないように引き続きお願いしたいと思います。今後共どうぞよろしくお願い致します。						大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 園や保育所等側からの思いが凝縮された内容だと感じます。 福祉や制度の理解を行いながら、適切な支援を提供できるように、しっかりと心に留めていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
1st FILLTURE		R7年 5月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○	訪問支援用としての教材はないが、児童発達支援で使用している教材を紹介することはある。	道具を使用することで改善される事案がある場合は、教具教材を用意する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	目標設定や振り返りが個人になりやすい。職員会議を含め全体へ共有はしている。	他者評価も得られるように、目標設定には職員が関わられるようにする。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		コンサルティングとして他県にある外部の事業所からモニタリングを行うなど、連携を取っている。	第三者評価をしている法人と繋がることのできたため、依頼を検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に受けられる研修や外部の有料研修にも受講できるようにしている。	外部研修を行うことで、質の向上やより意識化を図っていく。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		多くが児童発達支援との多機能型で利用されているため、ニーズや課題を分析している。	通所支援と連動した療育ができるように、共有や連携を強化していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		各園の園長や担任の先生と事前に打ち合わせを行い、共通意識をもてるようにしている。	丁寧に連携を進めていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		話し合いの場を設けているがまだ十分とは言えない。	児童発達支援との連動が図れるように、ケース会議の頻度や時間を確保していく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関、保健センターや養護教育センター、就学先の学校へ足を運び、担当者との連携が図れる体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各学校へ訪問し、書面に加え直接的に情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		CASが行うペアレントトレーニングの研修に申し込んでいる。	家族向けの研修機会も提供していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		地域に向けて家族やきょうだいで遊べる親子ひろばを定期開催している。利用児が使用しやすい機会も検討していく。	長期休みの期間を中心にきょうだい児に特化したイベントも検討していく。保護者会を開催アンケートを行い、ニーズに応じた対応を行う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	訪問支援として身体拘束を想定していなかった。	訪問先との支援計画を共有する際に、身体拘束の場面について検討を行っていく。